

平成 28 年度一般会計予算案は修正で可決

新年度予算スタート

一般・特別会計・水道会計合わせ 112 億 6568 万 3 千円

3月7日開会の第1回定例会は平成28年度の一般会計と、5事業特別及び水道事業会計の予算案が、3月22日と23日に採決されました。一般会計予算案は議員提案で修正議決され、他は原案どおり可決されました。予算額は、一般会計・特別

会計・水道会計を合わせた総額は112億6568万3千円(15・6%増)です。4日間にわたる予算審議では一般会計・特別会計全般に対し多くの質疑が出され、採決に当たっては議論も行われました。

平成28年度第1回定例会(3月議会)は3月7日に開会し、西江町長から町政執行方針、田中教育長から教育行政執行方針が述べられ、予算の骨子が示されました。予算案の審議は一般質問が終了したあと3月17日から始められました。それぞれの予算の説明のあと質疑が行われました。予算総額は次のとおりです。

一般会計予算案は91億5900万円(21・9%増)

国民健康保険特別会計予算案は5億9526万7千円(5・7%減)

後期高齢者医療事業特別会計予算案は1億5218万2千円(2・9%減)

介護保険サービス事業特別会計案は655万7千円(60・3%増)

公共下水道事業特別会計予算案は8億6746万4千円(7・9%減)

地方卸売市場事業特別会計予算案は586万7千円(5・6%減)

水道事業会計予算案は5億1083万4千円です。

主な質疑は次のとおりです。

Q 福祉ハイヤーには、人工透析など通院に利用している人も多いが最近ハイヤーが頼んでもなかなか来なくて困っている。改善策は。

A 人工透析については時間との戦いの部分がある。ハイヤー会社が1社体制のなかで特に冬季に関しては、頼んでもなかなか来なくて困っている。陸運局にも改善するよう求めていく。

Q 地域おこし協力隊につ

いて予算が組まれているがどのように取り扱うのか。

A 地域おこし協力隊については、国の事業で都市部から地域に住民票を移して町の行事や集落のイベントなどに取り組むことになっている。

今回、2名分の予算を計上している。総額2名分で800万円だが人件費、研修費などで全額国から措置される。

Q 副町長2名分の給料が計上されているが派遣はなくなったのでは。

A 副町長2人は町長の公約でもあり、国に要請しているが全国的に希望が多く認められなかった。引き続き取り組んでいく。

Q ひらふ中核施設については、新年度予算を含め説明を受けてきたが、道

有地については買収するのか、買収すると建物の位置も変わるのではないかと。第一駐車場とサンスポーツランドとセットだと思うが、計画全体の説明がなされていないのではないか。

A 道有地の取得については早急に北海道と協議したいと考えている。

駐車場とサンスポーツランドとセットで考えている。また、前期計画と後期計画の当初計画との違いは、補助金申請の関係でそのような仕切りになった。

Q 住み替え事業については高齢者にとって戸建ての管理が大変ということに住み替えを希望する人に対し、高齢者住宅の民間事業による建て替え計画など町としての取り組みが必要では。

A 高齢者の方が本町に住み続けてもらうためには、家賃の助成なども含めて考える必要がある。

北海道の「高齢者居住安定計画」については町でも策定できると聞いているので考えていきたい。

Q 国民健康保険については、昨年12月に賦課限度額が引き上げられた。低所得の人には関係ないというが他の保険と比べて全体として所得が低い。

A 国民健康保険税については他保険に加入できない自営業、年金生活者の方が加入している。税率については本町は低いほうだ。

予算案に多くの質疑が出され質疑終了後、一般会計予算案に神議員と田中議員より予算案についての修正動議が提出されました。